

◆岩手県食育推進計画 県以外の主体の取組状況（令和3年度）

資料 2 - 4

I 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

●施策

- 1 幼児等の健全な食習慣の形成
- 2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成
- 3 生涯にわたる健全な食習慣の形成

皆さんに期待すること					
家庭	幼稚園・保育所	学校	地域	食品関連事業者	市町村
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、朝食を食べる（準備する）習慣を身に付ける。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」を実践する。 ・家族全員又は誰かと一緒に食卓を囲み、楽しい会話をしながら食事をする機会を作る。 ・一日に2回は、主食・主菜・副菜が揃った食事を食べる（準備する）よう心がける。 ・自分の歯で何でも噛めるように口腔の健康を保ち、よく噛んで食べる習慣を身に付ける。 ・学校が開催する給食交流会などの食に関する行事へ参加する。 ・学校が実施する食生活に関する取組を参考に、健全な食生活を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの食への興味や意欲を喚起するとともに、望ましい食習慣を育成するための取組を実施する。 ・家庭の食生活に関する相談への助言を実施する。 ・家庭や地域に給食を試食する機会を提供する。 ・子どもの口腔の健康づくりを行い、よく噛んで食べる習慣の形成に取り組む。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣形成に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動全体を通じた児童生徒への食に関する指導を実施する。 ・家庭に対する啓発活動を実施するとともに、食育に関する様々な情報を提供する。 ・子どもの口腔の健康づくりを行い、よく噛んで食べる習慣の形成に取り組む。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医療関係者等による口腔の健康づくりの実施により、自分の歯で何でも噛めるように口腔の健康を保ち、よく噛んで食べる習慣の形成・維持に取り組む。 ・近隣住民等に健康的な食生活に関する情報を提供する。 ・学校が開催する給食交流会などの食に関する行事へ参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店での栄養成分表示を積極的に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診や各種事業を通じた子どもの健康と食に関する相談体制を充実させる。 ・子育て世代（20～40歳代）が参加しやすい方法による健康や食に関する各種教室を積極的に開催する。 ・食生活改善推進員を養成する。 ・歯科医療関係者等と連携して住民の口腔の健康づくりを実施し、自分の歯で何でも噛めるように口腔の健康を保ち、よく噛んで食べる習慣の形成・維持に取り組む。 ・家庭や学校、地域が連携して行う食育に関する行事や活動を支援する。

県以外の主体の取組状況	
取組状況	補足(委員)
<p>【事業者団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子料理教室の動画配信、食育教室の開催。 ・食生活改善推進員団体が地域において適量・適塩等の健全な食生活の定着に向けて啓発を実施。 ・栄養士会において乳幼児の栄養、食生活に関する相談を実施。 <p>【教育振興運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども、家庭、学校、地域、行政の役割と責任を明確にし、互いに連携しながら地域の教育課題解決のための取組を実施。 <p>食育推進の取組事例</p> <p>「食育推進事業(児童クラブ食育教室)」(軽米町)</p> <p>「食育出前講座」(山田町)</p> <p>「郷土料理「まめぶ」未来継承講座」(久慈市) 等</p> <p>【市町村】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園で野菜の栽培や調理体験を通じた食育の取組を実施。 ・朝食の大切さを学ぶ講話と調理実習を実施。 ・食育講座(栄養士の講話、ヘルシー栄養教室等)を実施。 ・かみかみ週間の実施、「食育の日・よくかむ給食」の実施。 ・図書館と連携し、「食」に関する本の企画展を実施。 	<p>「いわて生活協同組合」として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ下のため、オンラインクッキングで子育て中のママたちが楽しく学べる企画を開催(簡単薬膳料理、季節の野菜を使ったメニューなど)。 ・園児・小学生向けのキッズクッキングをオンラインで開催(簡単な巻きキンパ) ・子育て中のママたちへ冷凍離乳食などの便利な食品を紹介。 <p>「JA全農いわて」として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生スポーツ大会協賛 <p>大会協賛を通じて参加小学生及び保護者・指導者に対し、体作りに必要なバランスのとれた「食事の大切さ」と「食を支える国内農業の重要性の理解促進」を図った。小学生のソフトボール、野球、卓球、バレーボール、ミニバスケットボール、柔道の各種大会において、チラシ、ノベルティの配布、</p> <p>広告掲出、副賞提供(県産農畜産物)を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育推進全国大会inいわて <p>岩手県が、食育の重要性について県民理解のさらなる促進を図るために開催した、食育推進全国大会 in いわてに「2021いわて純情むすめ」と「じゅんきくん」が参加し、食育ダンスや岩手の農畜産物のPRを行い、食の大切さや食を支える農業への関心・親しみを深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわて牛食育レシピの作成、配布 <p>県内学校栄養士からいわて牛・いわて短角牛を活用したレシピを募集し、作成したレシピ集を学校栄養士に配布し、県産牛肉の理解醸成を図った。</p> <p>「岩手県学校栄養士協議会」として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食を活用した食に関する指導(教科等、給食の時間、個別的な相談指導)を実施 ・肥満予防対策の1つとして「カミカミ給食」を実施

Ⅱ 食の安全安心を支える食育の推進

●施策

1 食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進

2 食品情報の提供と食品表示の適正化の推進

皆さんに期待すること					
家庭	幼稚園・保育所	学校	地域	食品関連事業者	市町村
<ul style="list-style-type: none"> ・リスクコミュニケーションへの参加に努める。 ・食品表示や食中毒、食物アレルギーなどの食の安全について知識と理解を深める。 ・食品表示を有効活用する。 ・牛肉・米トレーサビリティ制度により伝達された産地情報を、商品選択の参考とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の時間や家庭科など関連する教科等の時間において、食品表示や食中毒、食物アレルギーなどの食の安全について学ぶ。 ・食品の生産、製造・加工、流通・販売について学ぶ。 ・リスクコミュニケーションへの参加に努める。 			<ul style="list-style-type: none"> ・リスクコミュニケーションへの参加に努める。 ・食の安全安心の確保に関する情報を分かりやすく、適切に提供する。 ・食品の生産・製造・加工、流通・販売の仕組みなどの食の安全安心に関する学習を支援する。 ・食品に関する情報提供を推進する。 ・食品表示を適正に行う。 ・関係法令の順守及びトレーサビリティに必要な取組(牛肉・米穀等の取組情報の記録・保存及び産地情報の伝達の実施)を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者に対し、食品表示や食品衛生等に関する普及啓発を行う。
県以外の主体の取組状況					
取組状況			補足(委員)		
【事業者団体等】 <ul style="list-style-type: none"> ・親子料理教室の動画配信、食育教室の開催。 ・食生活改善推進員団体が地域において適量・適塩等の健全な食生活の定着に向けて啓発を実施。 ・栄養士会において乳幼児の栄養、食生活に関する相談を実施。 			「いわて生活協同組合」として <ul style="list-style-type: none"> ・食品添加物についての学習会を開催。 ・「ゲノム編集食品についての学習会」へ参加。 「岩手県消費者団体連絡協議会」として <ul style="list-style-type: none"> ・学習会「食品表示を見てみよう～現在検討中の表示と課題」を開催 ・学習会「食品ロスとは、私たちにできること」を開催 「JA全農いわて」として <ul style="list-style-type: none"> ・県内農業高校生(畜産専攻)に対して、牛肉の流通と品質の見方に関する研修会を実施。また、学習した生徒たちが全農本所(東京大手町)主催の『和牛甲子園』へ出場し、肉牛生産に関する学びを深めた。 		

Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

●施策

1 農林漁業体験などを通じた生産への理解の増進

2 食文化や食生活の継承

皆さんに期待すること					
家庭	幼稚園・保育所	学校	地域	食品関連事業者	市町村
<ul style="list-style-type: none"> ・生産現場の体験や生産者との交流により、農林水産業に対する理解を深める。 ・四季折々の家庭行事などで郷土料理や行事食をつくり、楽しく食卓を囲む。 ・県産食材や地元で取れる季節の食材を使った家庭料理を心がける。 ・祖父母や親から“我が家に伝わる料理”を積極的に学び、次世代に伝える。 ・食べ残しをしない。 ・食材は使い切り、料理くず等を出さないよう調理方法を工夫する。 ・マイボトルやマイ橋を活用するなど、使い捨てプラスチックの使用をできるだけ控える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産現場の体験や生産者との交流により、農林水産業に対する理解を深める。 ・行事や実習等の体験を通じて、幼児期から地域の食文化に触れる機会を提供する。 ・地元食材や県産食材、郷土料理や伝統料理を給食に取り入れる。 ・給食、お弁当を残さず食べる「もったいない」の習慣を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産現場の体験や生産者との交流により、農林水産業に対する理解を深める。 ・農林漁業の体験活動を通じて、地域の食材に対する理解を深める。 ・地元食材や県産食材、郷土料理や伝統料理を学校給食に取り入れ、食に関する指導の生きた教材として学校給食を活用する。 ・家庭に対する啓発活動、情報提供を行う。 ・給食、お弁当を残さず食べる「もったいない」の習慣を培う。 ・食品ロス削減に関する理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業の多様な体験の機会を提供する。 ・地域行事や共食事業等の機会を活用し、地元食材や県産食材を取り入れるとともに、郷土料理を食して伝える機会を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業の多様な体験の機会を提供する。 ・食品廃棄物について、発生抑制と減量化により最終的に処分される量を減少させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農林漁業体験学習関係者の連携を推進する。 ・食文化や郷土料理の継承関係者間の連携や、食の匠等による伝承活動のための環境づくりを推進する。 ・食文化や郷土料理を継承できる人材を育成する。

県以外の主体の取組状況	
取組状況	補足(委員)
<p>【小中学生等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林漁業体験学習の実施。 ・郷土料理や伝統料理に関する調理実習の実施。 <p>【事業者団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産食材を使用した料理教室の開催。 <p>【市町村】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産農産物や郷土料理を取り入れた学校給食の提供。 ・食育月間にあわせて、地場産農畜産物を取り入れた学校給食、保育所における地産地消給食・県産食材給食の提供を実施。 ・食育月間にあわせて、学校で郷土食の紹介や調理実習、講習会を実施。 	<p>「いわて生活協同組合」として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子産地見学は「リンゴ狩り体験」のみ開催。 ・例年開催していた産直米交流会・産直牛乳ふるさと訪問はコロナ感染拡大防止のため中止。 <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの産地交流、生産者を招いての学習会をそれぞれ1回ずつ開催。 <p>「岩手県学校栄養士協議会」として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第16回食育推進全国大会inいわて」公式ホームページに、料理レシピ「いわて牛」を使用した給食献立を掲載 ・「第16回食育推進全国大会inいわて」の学校給食シンポジウムにおいて、地場産物の使用拡大に向けての事例紹介 ・全国学校給食週間(1月24日～30日)において、地元食材や郷土料理などを給食に取り入れたり、家庭へ情報提供を行った。 <p>「盛岡大学栄養科学部」として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義「地域食材資源論」を実施 <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の農林水産業(地域の食材)について理解を深めるため、専門家(実務経験のある講師)による講義と見学実習。トレーサビリティおよびSDGsとの関連性も含む。

Ⅳ 地域に根ざした食育の推進

●施策

- 1 食育推進運動の展開
- 2 市町村や地域における食育の推進

皆さんに期待すること					
家庭	幼稚園・保育所	学校	地域	食品関連事業者	市町村
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭等で食卓を囲む機会を充実させる。 ・親子や世代間におけるコミュニケーションを確保する。 ・買い物、料理、配膳の手伝い、食前・食後の挨拶等により、食に関する基礎を学ぶ。 ・学校や保育所、地域が行う食に関する勉強会や体験的な活動に子どもと一緒に積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育だより、給食展示、給食の試食会等を通じて学校給食や食に関する指導内容等を家庭と共有する。 ・保護者会等を通じて食に関する指導を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、講習会、親子料理教室などの実施に努める。 ・幅広い世代における食育関連のリーダー育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する理解を深め、各事業者の事業活動などの特色に応じた食育活動を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育を推進するための適切な組織を形成するとともに、市町村食育推進計画を策定する。 ・市町村食育推進計画に基づき、学校や保育所、地域などと連携し、計画的に食育の施策を展開する。 ・ホームページ、広報等を通じた食育に関する情報提供を行う。
県以外の主体の取組状況					
取組状況			補足(委員)		
【事業者団体等】 <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県食育推進ネットワーク会議において、県民の食育への理解と関心を深めることを目的に、食育標語コンクール及び食育推進ポスターコンクールを実施。(県と共催) 【市町村】 <ul style="list-style-type: none"> ・学校で給食だより等による食育指導、調理実習等を実施。 ・ホームページや各広報誌等で食育を普及啓発。 			「いわて生活協同組合」として <ul style="list-style-type: none"> ・4～6歳児を対象とした店舗での「お買い物体験」を開催。 「JA全農いわて」として <ul style="list-style-type: none"> ・いわて牛・いわて短角牛給食の日 食の豊かさの継承と畜産県いわてにおける食育ならびに自県産食材への意識高揚を目的とし、県内小・中学校給食へのいわて牛提供を実施(11月29日、県下27市町村、382校(76,768名)、計1,992kg) <ul style="list-style-type: none"> ・花巻市・花巻農業高校と連携した食育授業 花巻市内小学校(東和小学校)において、花巻農業高校畜産専攻班の生徒か		

	<p>らの食育授業(コロナ禍のため動画放送)を実施。合わせていわて牛と花巻農業高校の味噌を使用したコラボ給食を提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわて純情豚給食提供 <p>JAいわて中央養豚専門部会主催の食育イベントに協賛し、学校給食へのいわて純情豚の提供および生産者との交流を通じて、広く県産豚肉(いわて純情豚)をPRし、地元食材への関心を高めた。(11月10日、紫波町内小中学校12校(2,821食・豚肉約100kg))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酪農出前教室 <p>岩手県牛乳普及協会との協賛(6～11月実施、県内20校)</p> <p>「岩手県学校栄養士協議会」として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育月間及び食育の日の取組について、給食だより等を通じて家庭へ情報提供を行った。 <p>「岩手県食品衛生協会として」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品による健康被害の発生防止と食品衛生への理解と関心を深めていただくために、8月の食品衛生月間に各支会が次の「食品衛生思想の普及向上事業」を実施した。 <p>ア)消費者等による一日食品衛生指導員、食品衛生講習会 イ)テレビ・ラジオ等による食中毒予防キャンペーン、同スポットCM ウ)広報紙、ポスターの掲示による食中毒予防の注意喚起 エ)手洗いチェッカーを用いた手洗い講習会 オ)集客施設におけるリーフレット・エンボス手袋等の配布</p>
--	--